

平成30年度 OBラン報告書

作成日:平成 30 年 10 月 22 日

文責:H23 入学 川邊

1. 概要

今年度のOBランは静岡県伊豆長岡で開催しました。若手層を中心に合計26名の参加者が集まりました。1日目は深夜まで懇親会を行い、2日目は5班に分かれてサイクリングを楽しみました。韮山反射炉を見学後、狩野川沿いをサイクリングロードで修善寺まで上り、旭滝に至る道を往復するコースを用意しました。天候にも恵まれ、狩野川沿いのサイクリングロードは走っていて非常に気持ちよかったという感想を持たれた方が多かったです。

2. 詳細

- 開催地：静岡県 伊豆長岡
- 開催日：10/6 - 10/7（土-日）
- 宿：伊豆長岡温泉 創作料理の湯宿 あづまや 〒410-2201 静岡県伊豆の国市古奈39
- タイムテーブル
 - 10月6日(土)
 - 15:00 チェックイン開始
 - 17:00 OB総会
 - 18:00 夕食開始
 - 19:00 夕食完了、一旦解散
 - 20:30 懇親会開始
 - 23:00 懇親会終了
 - 10月7日(日)
 - 07:30 朝食提供開始
 - 08:30 朝食終了
 - 09:00 ラン開始
 - 13:30 ラン終了
 - 14:00 解散

3. 参加者（計26名）

- 幹事(主幹)：H23入学
和久田 翔吾(会計)，石川 英樹(調達係)，蔵永 圭則(調達係)，
筒川 和樹(宿係)，筒川 木の実(宿係)，柴田 貴史(保険手配係)，川邊 哲也(実長)
- 参加者(敬称略)
 - S42 米田 健一
 - S43 近藤 時生
 - S47 田中 茂
 - S48 細川 浩一郎，森 吉彦
 - S54 小野 修司
 - S55 石田 一郎
 - S57 桜井 祥裕
 - H13 村瀬 智史
 - H18 小島 直也，小河 寛明
 - H24 廣瀬 敬吾，黒川 顕稔，黄 雄明，堀尾 卓也，高木 駿
 - H27 阿賀 一朗，野平 一樹，小江 悠達

4. コース

葦山反射炉を見学後、狩野川沿いをサイクリングロードで修善寺まで上り、旭滝に至る道を往復するコース

距離:30km 獲得標高:200m

□ コース動画

ラン終了後、参加者であるS54石田さんがReliveというアプリで作って下さいました。

<https://www.relive.cc/view/1888921118>



□ 班構成 (敬称略)

- 1 班: 米田, 小野, 小島, 和久田, 廣瀬*
- 2 班: 近藤, 石田, 小河, 筒川(木), 黒川*
- 3 班: 田中, 桜井, 筒川(和), 黄, 阿賀*
- 4 班: 細川, 村瀬, 柴田, 堀尾, 野平*
- 5 班: 森, 川邊, 高木, 小江*

*の班員にはCL(コースリーダー)として今回のコースを先導していただきました。

□ 配布したコースマップ

https://drive.google.com/file/d/1UdfeWmw_SrHtd2NwXIiNPHYLoHb64p_T/view?usp=sharing



□ 配布したサイクリングロード詳細

マップ内の番号はコースマップの番号と対応しています。

<https://drive.google.com/file/d/1adeBQGZN7zclY44dwXyUx2f1oCx8wdgF/view?usp=sharing>



コース図。自動車道でコースを繋げました。実際は狩野川沿いは全てサイクリングロードを通ったため、このコースは正確ではありません。

5. ラン報告

□ 1日目

例年と同様に、OB総会と懇親会を行いました。OB総会では、助成金のあり方についての議論や、関東支部からの提案であるホームページの統合についての承認がされました。

OB 総会後は夕食でした。思い出話や近況についての話に花を咲かせながら、あづまやさんの季節の和風創作料理に舌鼓を打ちました。食後1時間は入浴や(懇親会に備えて)仮眠のための自由時間としました。

懇親会は例年と比べて穏やかな会となりました。例年は乾杯前に参加者一人一人の自己紹介の時間が有りましたが、かなりの時間がかかってしまいせっかくの懇親会の時間がもったいない、ということで、今年是一部の方のみ自己紹介をしてもらうことにしました。前座として幹事代の自己紹介で場を暖め、幹事長の音頭による乾杯を挟み、昭和40年代の大先輩の自己紹介をしていただきました。他の参加者もお酒を飲みながら話を聞くことができ、この自己紹介システムは好評でした。歴代部長、副部長の乾杯コールなど次第に場が盛り上がっていきました。現役時代の飲み会を少しは思い出せたのではないのでしょうか。宿のオーナーにはうるさいと数回怒られながらも、締め全寮歌斉唱 & エール交換までやりきることができました。全寮歌は今年は1,2,6番のみ歌いました。



□ 2日目

前日の懇親会で盛り上がったため、例年通り朝食にスムーズに集まらず全員が揃わない朝食となりましたが、朝食の片付けが始まる8時30分までにはほぼ全員が朝食を食べることができていました。その後各自出発の準備に取り掛かりました。社会人になってロードバイクを買った人もおり、お互いの機材を見せ合っていました。

天気は快晴。気温も夏のように暑くなりました。9時過ぎから班ごとに5分の間隔を空けてスタートしました。まずは15分ほど走り葦山反射炉へ。2015年に世界遺産登録されたということで駐車場は綺麗に整備されており、併設している資料館では凹凸のある巨大スクリーンで操業当時の大砲鑄造の立体映像を見ることができました。途中、4班は富士山が良く見える展望台を見つけ、班員で写真を撮りに行っていました。

再度各班5分以上の間隔を開け再出発。ここから修善寺までは狩野川沿いのサイクリングロードを走りました。強い向かい風とかすかな上りに少々苦しみながらも、城山（じょうやま）などの雄大な自然を観ながら快走路を走り抜けました。途中、2班のS43 近藤さんのレンタルサイクルがまさかのパンク。前日の懇親会で(胃に)ダメージを負った同班の小河さんが体調不良で同じタイミングでリタイアしたため、小河さんの自転車を班の中で使い回すことでなんとかランを続行しました。

修善寺についてから旭滝までは100mほどのアップ区間でした。指定したコースから外れ、修善寺市街まで来てしまった班が2班ほどありましたが、何とか全班旭滝へ到着。壮大な滝を間近に観て堪能し集合写真を撮った後、修善寺まで上ってきた道を下り戻りました。

修善寺からの帰り道は行きとは対岸のサイクリングロードを走りました。追い風とゆるい下り坂のおかげでこれ以上無い快走を味わえたかと思います。行きとは半分の時間でゴール地点である狩野川リバーサイドパークへ到着。昼食を済ませた後、締め挨拶、次期OBランの実長選任、実長と次期実長イノコをし、解散となりました。



旭滝にて集合写真



4班が見つけた展望台。右奥に富士山

運営が撮影したOBランの写真へのリンクとQRコードはこちら

<https://photos.app.goo.gl/3nM8ANWsLvwxLpG78>

ご自由にダウンロードしていただいて結構です。



5. 会計報告

項目	収入	支出	概要
昨年度繰越金	¥40,425		
参加費	¥390,000		15000円×26
レンタサイクル代(集金)	¥7,000		1000円×7
寄付	¥5,429		OB会交通費補助余剰金(川邊より寄付)
下見代		¥53,643	
宿泊費		¥232,700	8950円×26
夕食追加費		¥6,800	瓶ビール(680円)×10
葦山反射炉見学料		¥10,800	450円×24
昼食代		¥12,740	490円×26
保険代		¥10,660	410円×26 エイチ・エス 国内旅行総合保険
レンタサイクル代(出費)		¥8,000	1000円×6(クロスバイク)+2000円(電動クロスバイク) ※ 在庫がないためにやむなく電動をレンタルしたため、追加の1000円は集金せず経費から払った
懇親会費		¥35,485	
雑費		¥13,150	ブルーシート、ごみ袋、昼食用お茶、振込手数料、etc
学生参加者返金		¥18,000	H27 阿賀氏、小江氏、野平氏(6000円×3)
来年度繰越金		¥40,876	内今年度分451円
計	¥442,854	¥442,854	

6. 本年度のOBランを振り返って

〈実長 川邊〉

台風接近で心配していた天気は一転、最高の天気となり、Facebook や OB ランブログに掲載していた景色をお約束通りお見せすることができました。参加者の皆さま、ご参加ありがとうございました。また、運営のために貴重な時間を捻出してくれた同期に感謝します。

来年度以降の OB ランを運営する後輩に向けて今年の OB ランの運営を振り返ります。まず、OBランに参加して運営に協力してくれる同期を多く集めるのが何よりも重要です。今回我々の同期で当日参加したのは7名だけでした。受付、買い出し、会場設営など大忙しで7名では手が回らず、結果後輩の手を借りて運営せざるを得なくなっていました。

開催地決めは4月、下見は6月末に行きました。本来GWまでに場所と宿を決めてGW下見に行く、というのが日程調整的には一番楽かと思います。コースは例年同様 30km, 150up程度で景色が良いという条件で作りました。今年は、『地図アプリではうまく辿れないサイクリングロードをコースに多用する』等の理由から、事前にコースマップを作成して配布しました。下見の際に多くの写真を撮りながら実際のコースを走る必要がありました。ランのコンセプトやコースによって下見の時点からすることが変わるので注意すべきです。

参加者集めにも苦労しました。伊豆というリゾート地での開催のため例年より参加費が高騰したこと、メールやFacebookなどでの全体向けの宣伝しか行わなかったことなどが響き、26名の参加者に留まりました。結果宿を貸し切ることができず、他の宿泊者に気を遣う必要が生じました。場所と参加費と宣伝手法が参加者数を決める重要な要素となります。宿を貸し切りにできる人数の下限を期限とともに宿の人に確認を取ることが重要です。 以上